



子どもたちが砂遊びをしているカップの中に、赤い木の実が数粒入っていて、それを細い小枝でかき混ぜていました。くろがねもちの赤い実とねむのきの愛らしい葉っぱが、子どもたちの遊びの夢を広げています。スコップやスプーンで砂をすくうことが上手になってきました。

園庭の木々も紅葉がすすみ、秋の深まりを感じます。まだ、暖かい日が続きそうですので、もっと戸外で遊びを楽しんでいきたいです。



★すてきなお食事風景

食事が始まると、両手をちゃんと合わせ、いただきますの挨拶をして、手づかみで食べたり、スプーンでくって食べたりです。口や顔だけでなく、手や足までもがご飯粒やお汁で大変なことになりますが、自分で食べたという満腹感と満足感でとっても嬉しそうです。

カレー 大好き!

りんご おいしい!



★わらべうたの紹介 ♪ どんぐり ころちゃん

歌 どんぐり ころちゃん・手を叩きます。
頭はとんがって・・両手で頭の上をとんがらせます
お尻はぺっちゃんこ・・両手でお尻を叩きます
どんぐり はちくり しょ！・かいぐり グー・チョキ・パー



★ママ・ミニ・メール(3)

お母さん方に、遊びやおやつのレシピ、困った時の対処法などいろいろな情報を聞きしました。

今回は 南部さんです。

かいせいは、絵本が大好きです。食べ物の絵本を自分で広げ、手でつかんでモグモグ、パクパクとエアーなのに美味しいように食べます。

車の絵本も好きで、指さして「ブーブー」と言うようになりました。

親子で一番楽しんでいるのは、動物の絵本。真剣な表情で見入っている我が子に、母親としても力が入り、「ウーウンワン、にゃーお、があーお」と動物の鳴き声を熱演。ペンギンはうーん「ぺんぺん？」「キリンはねえモーなのよ」。(TVで見ました)なのに、どの動物も「ワンワン」と言うかいせいです。(.;)/~~~

★ 雨? 雪? 何だろう? 新聞紙あそびです

子どもたちは指で押す、つまむ、重ねる、引っ張るなど手先を使って遊ぶことが上手になってきました。

少し切り目をいたれた新聞紙を子どもと保育士で引っ張り合うと、ビリビリといい音で破れます。

破れた紙を上から雨や雪のようにまき散らすと、子どもたちは「きゅー」「わあー」と言って、紙をつかんだり、紙の中にひっくり返ったりします。

部屋中、新聞紙でいっぱい。紙の中に埋もれてにこにこ顔の子どもたちでした。

(写真を部屋に貼っています)

すみれ組だより

平成30年11月9日(金)

秋が深まり、頬にふれる朝夕の風は冷たさを感じるようになってきました。日中は、まだ暖かいこの時期を捉えて、子どもたちの外遊びに多く時間を取いました。落ち葉や木の実を拾ったり、園庭を走りまわったいして元気いっぱい遊んでいます。

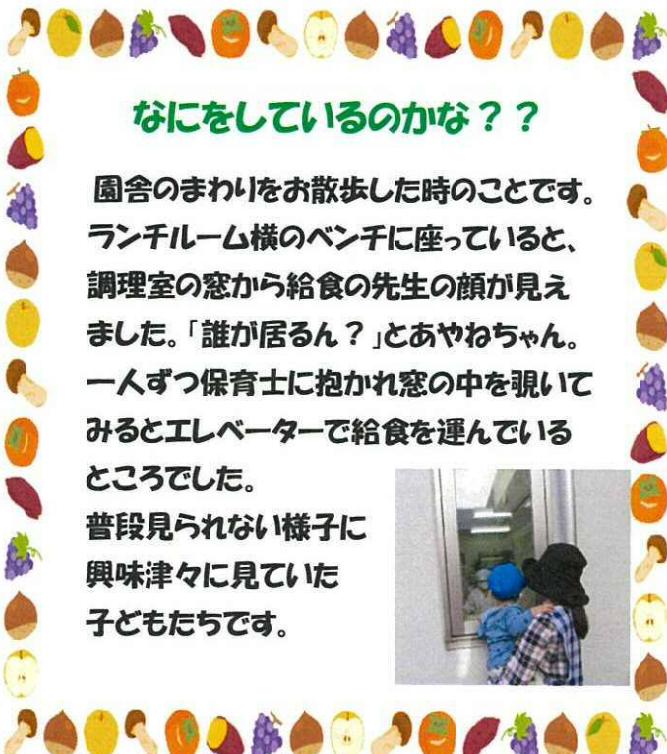


「がんばって～」

10月31日に以上児のマラソン大会で、すみれ組は遊戯室から応援しました。



スタートした時は「何が始まったんだろう？」というような表情で見ていた子どもたち。コースを走りいつもとは違う真剣な表情で保育園に戻ってきたお兄ちゃん、お姉ちゃんの姿を見てたくさんの拍手で「頑張って!!」と応援していました。



なにをしているのかな？？

園舎のまわりをお散歩した時のことです。ランチルーム横のベンチに座っていると、調理室の窓から給食の先生の顔が見えました。「誰が居るん？」とあやねちゃん。一人ずつ保育士に抱かれ窓の中を覗いてみるとエレベーターで給食を運んでいるところでした。普段見られない様子に興味津々に見ていた子どもたちです。



～わらべうたの紹介～

「ももや」

も～もや ももや ながれは はやい
せんたくすれば きものがぬれる
あ どっこい しょの しょー

バスタオルや大きな布のうえに寝転んだ子どもを大人2人で持ち上げ、歌に合わせて揺らすわらべうたです。最後の「あ どっこいしょのしょー」で2回バスタオルを高く持ちあげます。子どもたちはこの高く持ち上げるところが好きなようで歌い始めるとニコッと笑顔になります。

すみれ組担任：草場、有菌



平成30年11月9日(金)

朝夕の温度差は、秋の深まりを感じさせます。元気いっぱいの子どもたちは先日、自分たちで作った、ふたば保育園の旗を持って、以上児のマラソン大会の応援に行ってきました。松尾町公園に着くと、”どっちから来るんだろう”といった表情で、右を見たり、左を見たりしていた子どもたちでしたが、「わっしょい！」と元気な声が近づいてくると、「あっ！来たよ！こっち」と指を差し「がんばって～」と大きな声で応援していました。保育士が「来年は、みんなも走るんだよ」と伝えると「やった～」と頬らしい言葉が返っていました。

園庭では、「ゆりが走るけ、応援してね」と、ちゅうりっぷぐみの小さなマラソン大会が芝生の周りで開催されています。子どもたちにとって、かっこいいお兄さん、お姉さんの姿は憧れの存在になっています。



絵本の紹介

「ゆくとすくのうそはちくちく」 絵：佐古百美 文：高寺夏代



とすーんと大きな音がした方へ、ゆくとすくが行ってみると、おさるがお尻を押さえていました。木から落ちたことが恥ずかしいおさるは「落ちた子はあっちへ行った」と自分ではなく、熊のペロリが落ちたのだと嘘をつきます。それを信じてペロリのことを本当に心配する姿を見て、おさるは胸がちくちくします。とうとう耐えきれずに全てを話したおさるは、「うそはケガよりちくちくするんだ」ということに気づきます。本当の事を打ち明けたとたん、胸のちくちくもなくなっていました。子どもたちは、「おさるさんちくちくが無くなってよかったね」と真剣な表情で言っていますよ。

冬に向かい寒暖の差が大きくなる時期です。感染症も増えてきそうです。室内の温度や換気に気をつけ、鼻水が出ている子に注意し、清潔にしながら、こまめに手洗いをすることで予防していくたいと思います。

ちゅうりっぷぐみ担任・・・中村、唐木、崎野



平成30年11月9日(金)

「天高く馬肥ゆる秋」のことわざ通りに、透き通るような青空に真っ白な飛行機雲に、子どもたちは空を見上げ思わず歓声をあげ、爽やかな風を十分に感じながら外遊びを楽しんでいます。

皿倉登山やマラソン大会で最後まで頑張った子どもたちは、自信がついてたくましくなりました。今まで「怖い。」と近づかなかった公園の登り棒に、「先生、あの滑って降りるのがしたい…。」と出来なかつたことに挑戦しようとしています。

これから冬に向かいますが、寒さに負けないようにと乾布摩擦でしっかり肌を鍛えている子どもたちです。



農事センターに行ってたくさん遊んだよ。

バスに乗りこむと、♪大型バスに乗ってます～♪と歌い始めた子ども達。なぞなぞをしながらウキウキ気分でした。到着して最初に家畜動物エリアへ行きました。ポニーが近くに寄って来ると、子ども達は頭をなでなでしていました。牛を見て坂道を登っていくとお気に入りのコスモス迷路。子供たちのリクエストに応え2度繰り返し遊んだ後、どんぐり林でどんぐり拾いをしました。山を降り、庭園で嬉しいお弁当です。食べ終わると広い芝生広場で、ゴロゴロ転がったり、木登り、追いかけっこ、かくれんぼと思いつ切り遊びました。途中でモノレールも見ることができてとても楽しい一日でした。



秋の自然物で遊んでいます。

- ・木の実（どんぐり・山みずき）を拾ってままごとや砂場でカレーやケーキを作り遊んでいます。
- ・落ち葉（桜・もみじ）でクレヨンを使いフロッタージュ「こすりだし」をしました。



今月の絵本

「おしゃらまんじゅう」…紅白のまんじゅうがこんにゃく・なっとう・ゆうれいなどを挟んでおしゃらまんじゅうをするお話しです。思わず笑ってしまいます。

「どうぞのいす」…うさぎが椅子を作り、野原の木の下に置いて「どうぞのいす」と書いた立て札を立てました。そこへ動物たちが次々とやって来るのですが…さてどうなるのでしょうか？



平成30年11月9日(金) 発行

11月7日の立冬が過ぎ、園庭の木々も葉を落とし、朝晩は冷え込むようになりました。行事を通して心も体も育って強くなった子どもたちは、半袖半ズボンで遊びとても活動的です。このまま冬も元気に乗り越えていきたいと思います。



成長の秋

ふたばの体育祭りでは登山からはじまりマラソン大会まで、いろんな競技に取り組みました。マラソン大会では、4キロの道のりを「わっしょい！」の掛け声で走りきることができました。途中で転び、泣く子どももいましたが、「あとちょっとやけ頑張ろう」や「血が出て痛いね。保育園帰つて先生に絆創膏貼ってもらおうね。」と友だちが声をかけると、怪我をした子どもはすぐに泣き止み再び走り始めました。友だちに声をかける姿を見て私は胸が熱くなりました。最後まで諦めずに取り組むことで、達成感を味わうと共に自信へと繋がったと思います。また、一人で取り組むのではなく、友だちと励まし合いながら、地域の方や応援して下さった保護者の方々に声をかけてもらいながら…と多くの人の支えを感じることができたのではないかと思います。



難しいけど
頑張ろう♪♪



ひまわり組のブームは鍵盤ハーモニカを弾くことです。初めは吹くと音が出ることを楽しんでいたのですが、最近はドレミファソの音階を使いながら弾くことを楽しんでいます。ドは親指、レは人差し指、ミは中指、ファは薬指、ソは小指の5本指を使いながら弾くことを練習しています。リズムよく弾くことができると「先生！聴いててね！」と嬉しそうに知らせてくれます。朝の集まりの中で保育士がピアノを弾いていると、鍵盤を指差しながら「これはド？」などと尋ねる子どももいます。「ドドのうた」や「きらきら星」など簡単な曲からはじめ、子どもたちは意欲的に取り組んでいます。今日もひまわり組では、鍵盤ハーモニカの音で保育室をより楽しくしています。

4歳児担任：西島・井上

☆第8号☆



平成30年11月9日（金）

地面を彩る落ち葉が時に風に舞い、晩秋の情緒を感じさせます。初旬に立冬を迎え、新しい年号に向かって肃々と歩を進めています。子どもたちにとっても、記念すべき平成の終わりの年の思い出になることと思います。入学を捉えたたんぽぽ組の子どもの姿を、一人ひとり見つめ直し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に向かって、年計画の3期、4期の育ちに力をこめ、進んでいきたいと思います。



励まし合う子どもたち

年長児は、5キロのコースを元気な掛け声とともに走り出しました。地域の方々の声援の励まして、スピードも上がり、遅れて走る友だちに「頑張ろうね」等の言葉をかけながら、列に入るのをその場で足踏みをして、待ちました。遅れた子ども達は、その声で元気を取り戻し、走りました。

クラス集団の友だちに対する思いやりの姿が活動の実際に重なりました。地域の方々と、身近な人の応援が子ども達の意欲を高めたようです。全員で元気にゴールできたマラソン大会でした。



お知らせ

11月15日（木）に、たんぽぽ組の子どもが、天疫神社へお参りに行きます。氏神様に、元気である今に感謝するとともに、ふたば保育園の皆が健やかでいられるように、参拝します。

5歳児担任：田中・田村